

生徒たちが協力して作り上げる「大イベント」 趣向と工夫を凝らし美瑛高校「美高祭」

コロナ感染拡大防止策の制約はあるものの、できることに精一杯、取り組み年に一度の祭典を協力して盛り上げる。美瑛高校「美高祭」が7月9日に校内で開かれた。コロナ禍に配慮し今年も一般公開はなく生徒と教職員のみで実施。生徒会執行部の生徒たちが中心となって企画、各クラスの生徒たちも協力して運営やステージ発表などに取り組み会場を盛り上げた。従来なら前夜祭として各クラスで手作りした行灯を役場前まで曳き、クラス毎のパフォーマンスを

披露。町民も楽しみに見学しているが残念ながら昨年同様中止と続き中止となっている。「美高祭」当日も一般公開はされなかったが、生徒たちは元気にステージ発表。軽音楽や美瑛白金太鼓、生徒によるコントをはじめ、それぞれの個性を輝かせた。クラスパフォーマンスでも各クラスが趣向を凝らしたダンスなどでチームワ



ークを発揮。生徒会企画として体験的型の催しも盛り込まれており、出場した生

徒はもとより見ている生徒たちも楽しませた。

学校祭は「準備・運営を通して生徒たちの自主性と積極性を育成、学年の絆を超え学校全体での協調性や団結力を養い、生徒たちのよりよい人間関係を構築する」を目的としており、制約がある中でも生徒たちは工夫。貴重な体験となった。一方で地域の高校との観点からは、生徒たちの活動の様子を地域の人々に見てもらえないという残念な状況が続いている。美瑛高校生たちの生き生きとした活動を、町民が楽しめる日が戻ってきてくれることを願いたい。

内容・写真、美瑛高校提供